

成田市議会だより No.85

平成28年 9月定例会

2016.11.1発行



表紙写真募集

成田市議会だより(2月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが思う
成田らしい写真」

締切は1月11日(水)
詳細は市議会ホームページを
ご覧ください

「成田スポーツフェスティバル」

成田の秋の祭典スポーツフェスティバル。団体種目の綱引きなど大勢の参加者が汗をかきました。
(中台運動公園陸上競技場)

主な内容

常任委員会3	議案と審議結果一覧7
特別委員会5	一般質問8
決算特別委員会6	コーヒータイトム14

9月
定例会の
あらまし

決算関係議案を含む 31議案を可決・同意・認定

平成28年度一般会計補正予算や 市有財産の取得など

平成28年9月定例会は、9月2日に招集され29日まで28日間の会期で開かれました。定例会の初日には、29議案が上程されました。

6日には、決算関係議案を審査する決算特別委員会が設置されました。

一般質問は、6日から3日間、17人の議員が登壇して行われ、8日には議案2件を同意しました。9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案27件と追加議案2件を原案どおり可決・認定し、また、請願1件を不採択とし、閉会しました。

9月定例会の日程

月 日	内 容
9月 2日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程、議案審議）
6日(火)	本会議（一般質問）、決算特別委員会
7日(水)	本会議（一般質問）
8日(木)	本会議（一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託）
9日(金)	建設水道常任委員会
12日(月)	空港対策特別委員会
13日(火)	経済環境常任委員会、医学部設置に関する特別委員会
14日(水)	教育民生常任委員会
15日(木)	総務常任委員会
20日(火)	決算特別委員会
21日(水)	決算特別委員会
23日(金)	決算特別委員会
28日(水)	空港対策特別委員会
29日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会）

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

議案6件をいずれも可決しました。
所管事務について3件の報告を受けました。

▼成田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定

【内 容】 医療用から転用された要指導医薬品^{注1} および一般用医薬品の購入費用の一部を所得から控除するため、医療費控除の特例を創設するもの、台湾における特例適用利子等および特例適用配当の額に係る所得を分離課税するもの、地域決定型地方税制特例措置^{注2}に基づき一定の再生可能エネルギー発電設備などの課税標準の特例措置の割合を定めるもの、一定の条件における個人市民税および法人市民税に係る延滞金の計算期間の見直しを行うものとするもの。

【主な質疑】 **問** 医療費控除の特例におけるスイッチOTC薬とは。

答 従来、医師の処方箋を必要としていた医療用医薬品から、一般の薬局等で購入できるようになった医薬品であり、これを年間1万2千円以上購入した場合に、1万2千円を超えた額が所得から控除されることになる。

注1 医師の処方箋が必要な『医療用医薬品』から、処方箋がなくても薬局で購入できる『第一類医薬品』に区分が変わったばかりで安全性に関する評価がまだ終わっていない市販薬と劇薬・毒薬のこと。

注2 固定資産税の特例措置に関して、市町村の判断により特例割合を決定できる仕組みのこと。通称わがまち特例。

▼平成28年度 成田市一般会計補正予算(第3号)

【内 容】 財政調整基金への積立、旅券発給事務申請交付事業、私立保育園施設整備費補助事業、病児・病後児保育施設整備費補助事業、いずみ清掃工場解体・ストックヤード整備事業、中小企業若手人材確保支援事業、幹線道路整備事業等で歳入歳出それぞれ20億4,188万4千円の増額補正を行うとともに、豊住小学校の大規模改造工事に伴う仮設校舎借上料について、債務負担行為を追加するもの。

【主な質疑】 **問** 中小企業若手人材確保支援事業で、平成28年度予定している事業は。

答 近隣の高校生、県内外の大学生等と市内中小企業とのマッチングイベントや、中小企業の経営者、人事担当者を対象に、学生を採用する際のノウハウを学ぶ人事セミナーを開催する予定である。

▼成田市一般旅券収入印紙購入基金の設置及び管理に関する条例制定

【内 容】 成田市において、一般旅券事務の取り扱いを平成28年10月3日から開始することに伴い、その発給申請等に必要となる収入印紙の購入について、一定規模の資金により継続した運用を行うための新たな基金を設置し、適正な管理を行うもの。



▲一般旅券事務取扱窓口

教育民生 常任委員会

議案7件をいずれも可決しました。
所管事務について5件の報告を受けました。

▼成田市保育所設置条例の一部改正

【内 容】 中台保育園の老朽化に伴う大規模改修工事が完了したことから、受入児童数の拡大を図るため、平成28年10月1日から同園の定員を150人から174人に増員することに伴い、所要の改正を行うもの。

経済環境 常任委員会

議案1件を可決し、請願1件を不採択としました。
所管事務について5件の報告を受けました。

▼成田市中小企業資金融資条例の一部改正

【内 容】 中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律が改正され、題名が中小企業等経営強化法に改められたこと等に伴い、条例で引用している法律名を変更するなど、所要の改正を行うもの。

▼臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願

【主な意見】

- TPP協定については、重要5品目について聖域が守られず、農業だけではなく、全産業分野に渡って大きな影響を及ぼす内容であり、情報公開、国民議論が必要であるが、交渉経過、過程が見えないまま国会の中だけで決められていき、国民議論を求めた国会決議に明らかに違反している姿勢に賛同できず、本請願に賛成する。
- TPP協定は、我が国全ての産業に大きな影響をもたらす重大事ではあるが、現在、国も総力を挙げて情報を収集し、交渉している段階であり、本請願について、今の段階では不採択とすべきである。

▼平成28年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

【内 容】 畑ヶ田地区の医学部付属病院の開業に合わせて、公共下水道の整備を進めており、畑ヶ田地先から県道八日市場佐倉線までの1.7キロメートルについて、成田市が実施設計を行っている。病院施設からの排水計画が整いつつあることから、病院前の市道川栗畑ヶ田線に埋設する汚水管渠および雨水管渠等の実施設計を行う必要が生じたため、増額補正するもの。

【主な質疑】 **問** 畑ヶ田地区の医学部付属病院の整備に係る公共下水道の工事費用は、成田市が全額負担するのか。

答 通常の開発行為では、民間が工事を行い、市が移管を受けるという形をとるが、今回は、市が医学部の誘致を行ったことから、当初から、インフラ整備は市で実施するという約束のもとで行っている。

建設水道 常任委員会

議案5件を可決しました。
所管事務について2件の報告を受けました。

▼調整池築造工事(並木町大久保台市道流末排水)請負契約の締結

【内 容】 並木町大久保台地区の市道並木町大久保台1号線他7路線の流末排水となる調整池の築造工事について請負契約を締結するもの。

【主な質疑】 **問** 住民への説明会の開催が必要と思うがどのように考えているか。

答 一般的には請負者が決定した後に施工計画書などをもとに説明会を行うが、本工事は大量の土砂の搬出を住宅地の道路を使用して行うため、事前に地元の区長や代表者と打ち合わせを行っており、平成28年4月の打ち合わせではほぼ工事についてご理解をいただいているが、今後も騒音や振動対策等、生活環境への配慮を十分に講じた上で大久保台地区の了解を得ていきたい。



▲調整池予定地

特別委員会

本会議で委員会に付託された議案と審査内容、および報告された内容の一部を要約して紹介します。

空港対策 特別委員会



●成田空港の更なる機能強化の状況

7月28日に第4回首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会が開催され、第3回協議会以降の羽田空港、成田空港に関する取り組み等の説明および各関係自治体の受け止めについての意見発表が行われた。6月の委員会以降、成田空港騒音対策地域連絡協議会下総部会への説明会や、三里塚区、西大須賀区、成毛区、名古屋地区、大室二区において、それぞれ地区説明会を開催するとともに、9月2日には成田空港騒音対策地域連絡協議会正副会長および事務局との意見交換会を行ったとのことでした。

●成田空港に関する四者協議会について

9月27日に開催された成田空港に関する四者協議会では、成田国際空港株式会社から更なる機能強化に向けた調査報告として、発着容量50万回時の成田空港の全体像について、滑走路の配置案、空港敷地範囲、夜間飛行制限の緩和、予測騒音コンター^{注3}の提案や更なる機能強化に当たって取り組む環境対策・地域共生策の基本的な考え方等が示されたことを受けて、成田空港の更なる機能強化の検討を進めるに当たっての確認書を締結することを了承したとのことでした。今後は、確認書を踏まえ、地域住民への丁寧な説明の中で、理解と協力が得られるよう最大限の努力を行い、改めて協議のうえ、最終的な結論を得ることとするとのことでした。

【主な質疑】 **問** 夜間飛行制限の緩和について、午前5時から午前1時までという運航可能時間は回避できなかったのか。

答 航空会社のヒアリング等を行ったところ、午前4時から午前2時までというニーズがあったが、内陸空港ということを考えて、前後1時間ずつ短くする形で提案した。

●その他

7月5日には成田国際空港株式会社に、また、9月16日には千葉県議会および千葉県に出向き、騒音地域における落下物に関する課題解決のための移転対策について協力を要請した。

注3 騒音影響区域。

医学部設置 に関する 特別委員会



▼市有財産の取得（国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設及びこれに関連する必要な施設の用地）

【内 容】 国際医療福祉大学医学部の校舎、付属施設およびこれに関連する必要な施設の用地として、畑ヶ田地先の土地、2,327.47平方メートルを1,606万円で取得するもの。

【主な質疑】 **問** 取得する用地に建設予定のヘリポートの利用の仕方と地上に設置する理由は。

答 ドクターヘリ等による緊急時の患者の搬送を想定している。通常、病院の救急受け入れ施設は、1階に設置されることから、ヘリポートを平場に設置することの方が多し。

●医学部新設の進捗状況

8月31日に国から正式に医学部の設置が認可されたとのことでした。公津の杜駅前の医学部校舎の建設工事はスケジュールどおりに進み、8月末現在で、25の市内業者の協力を得ており、内装工事や外構工事が始まるとさらに増加する見込みであるとのことでした。

●付属病院用地の土地利用計画

病院棟、医局棟、エネルギー棟、臨床研究センター、職員宿舎、託児施設、公園、ヘリポートの建設を予定しているほか、2,000台程度の駐車場を設置する予定である。また、成田市が大学側に求めた結果、職員宿舎や医局棟、臨床研究センターなどの市内業者でも施工が可能な建物については、市内事業者への発注を検討するとのことでした。



◆ ◆ ◆ 決算特別委員会 ◆ ◆ ◆

9月定例会では、平成27年度決算関係9議案を審査するための決算特別委員会(委員12人)が、9月6日に設置され、20日、21日および23日の3日間にわたり審査を行い、いずれも原案のとおり認定しました。

なお、平成27年度成田市一般会計歳入歳出決算の認定に対する付帯決議案が提出され、可決されました。

委員長	雨宮 真吾	副委員長	飯島 照明			
委員	荒川さくら	鳥海 直樹	会津 素子	一山 貴志	神崎 勝	
	福島 浩一	小澤 孝一	海保 茂喜	上田 信博	石渡 孝春	

[主な討論]

● 反対討論

国家戦略特区による医学部新設が決まり、医学部用地の取得、無償貸与が行われた。議会でも十分な審議ができず、国際医療福祉大学への支出は、余りにも巨額なものとなっている。今後、合併に伴う地方交付税がなくなり、法人市民税の減少が予想される中、本来行われるべき福祉の向上ができなくなることが想定される。また、平成27年度はマイナンバー制度^{注4}が始まったが、開始前から情報漏洩やプライバシー侵害、犯罪に結びつくことが指摘され、サーバー障害などトラブルも相次いでいる。以上のことから、一般会計決算について反対する。国民健康保険特別会計決算については、市民負担の増加につながる国保の広域化が含まれている。公設地方卸売市場特別会計決算については、T P Pで多大な影響を受ける国内農家への対策として輸出拠点化が進められているが、輸出の多くは加工品で、農家の損失は埋められない。介護保険特別会計決算については、特別養護老人ホームの入所要件と、低所得者への補足給付の判定の要件が厳しくなったため、反対する。

● 賛成討論

各種証明書のコンビニエンスストアによる交付事業をはじめ、市民サービスの向上に努め、市内経済活性化のために実施したプレミアム付商品券発行支援事業においては、事業費における約2倍の消費があり、一定の成果があったと考える。また、待機児童解消のため、中台保育園の大規模改修工事や吾妻小学校、三里塚小学校には児童ホームを新たに増設、公津の杜小学校では児童ホームを増築するなど子育て環境の充実にも一定の成果があったと感じる。J R・京成成田駅中央口地区整備事業により、成田駅前の再開発も事業が完了し、スカイタウン内に文化芸術センターもオープンし、駅前の整備とともに市民の文化活動への取り組みが広がった。さらに医科系大学誘致事業、国家戦略推進事業など成田市の発展に寄与する大小さまざまな施策が効果的、かつ効率的に実施され、成果があったと考える。以上のことから、本委員会に付託された議案全てを認定することに賛成する。

^{注4} 国民一人ひとりに番号を割り当て、個人情報その番号で一元管理する共通番号制度。

平成27年度一般会計および特別会計決算額

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	660億1,857万円	618億1,479万円	42億378万円
国民健康保険(事業勘定)	157億2,189万円	152億4,404万円	4億7,785万円
国民健康保険(施設勘定)	1億6,045万円	1億5,434万円	610万円
下水道事業	20億5,609万円	19億6,546万円	9,064万円
公設地方卸売市場	2億2,452万円	2億1,116万円	1,336万円
介護保険	61億6,191万円	60億6,153万円	1億38万円
農業集落排水事業	1億7,159万円	1億6,307万円	852万円
後期高齢者医療	8億6,663万円	8億5,011万円	1,652万円
合計	913億8,164万円	864億6,449万円	49億1,715万円

公営企業会計決算額

水道事業会計		
区分	収入	支出
収益的収支	21億2,473万円	19億3,116万円
資本的収支	2億8,053万円	8億1,390万円
簡易水道事業特別会計		
区分	収入	支出
収益的収支	3億5,687万円	3億5,310万円
資本的収支	4,760万円	1億5,312万円

※数値は万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります。

議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会			成田自民の会			公明党		リベラル		新風成田		共産党		虹			
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	福島浩一	佐久間一彦	神崎利一	平良清忠	一山貴志	水上幸彦	大倉富雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら
◆議案																														
1	教育委員会委員の任命 (小川 新太郎)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	教育委員会委員の任命 (高木 久美子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市議会議員及び成田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市予算の執行に関する市長の調査等の対象となる法人を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市一般旅券収入印紙購入基金の設置及び管理に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田市都市計画税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	成田市保育所設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市高齢者日常生活支援事業に関する条例廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	成田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市印鑑条例及び成田市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	成田市中小企業資金融資条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	成田都市計画事業JR成田駅東口第二種市街地再開発事業施行条例廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	市有財産の取得 (国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設及びこれに関連する必要な施設の用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	市有財産の取得 (A滑走路高度コース測定システム機器)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成27年度成田市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成27年度成田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成27年度成田市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成27年度成田市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成27年度成田市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成27年度成田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成27年度成田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成27年度成田市簡易水道事業特別会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成27年度成田市水道事業会計利益の処分及び決算	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成28年度成田市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成28年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	吾妻保育園大規模改修工事(建築工事)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	調整池築造工事(並木町大久保台市道流末排水)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆請願																														
6	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ ○=賛成、×=反対、欠=欠席 ※ 議長(伊藤 竹夫)は採決に加わりません。
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑

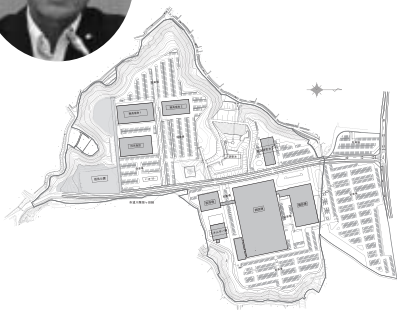
一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

1. 全体構想が見えない中、病院用地の無償貸与とは



海保茂喜 議員



▲病院施設用地土地利用計画図（予定）

問 いくら部分的に優れたものをつくっても、全体を組み合わせたときに優れたものになっているとは限らない。全体構想を描いてから詳細計画や実行に移すことが大切なことで、全体構想が見えない中で付属病院用地を無償貸与したことは、私には全く理解できない。成田市の見解を伺う。

答 国際医療学園都市構想で、公津の杜地区は教育ゾーンとして、医学部をはじめとした大学の学部・学科を整備し、畑ヶ田地区は学術医療集積ゾーンとして付属病院やトレーニングセンターなどの施設整備

を目指すことを提案した。付属病院用地の無償貸与の議決に当たっては、その時点で出せる情報は全て提示して、審議をお願いした。付属病院は医学部の付属施設として必須だが、これに関連して必要となる施設は、今後、付属病院の検討が進むにつれ、追加となる可能性があるが、計画が明らかになり次第、報告していく。

その他の質問

- ◆成田国際空港の活用と波及効果の地域還元とは
- ◆コンパクトシティ^{注5}構想の実現
- ◆大学誘致による学生と連携するまちづくり

注5 都市郊外化・スプロール化を抑制し、市街地のスケールを小さく保ち、歩いてゆける範囲を生活圏と捉え、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりを目指すもの。

2. 成田市公設地方卸売市場の再整備

神崎 勝 議員



▲千葉県花植木センター跡地

問 公設地方卸売市場について、千葉県花植木センター跡地を移転候補地とする発表があったが、決定までの経過は。また、検討に当たり、幾つかの候補地があったと思うが最終的な候補地決定の理由および千葉県花植木センター跡地の面積や交通アクセス等の現況は。また、再整備した市場はいつ頃の供用開始を予定しているのかを伺う。

答 候補地の選定は、成田空港に近接し、空港・幹線道路からのアクセス面が優れ、土地の制約が少なく事業着手までの期間が短縮可能であり、インフラ等の周辺環境を含

め施設建設が容易であることの3項目により検討を進めた。安倍内閣の経済対策に、スピード感を持って対応するため、土地の制約が少なくアクセスの面でも優れた千葉県花植木センター跡地を移転候補地と決定した。千葉県所有で面積は9万4,824平方メートル、インターチェンジ・空港への道路条件も優れていて、平成32年度の供用開始を目標としている。

その他の質問

- ◆夜間飛行制限の緩和
- ◆成田富里いずみ清掃工場の現状とこみの減量対策
- ◆第6期成田市介護保険事業計画

3. 成田湯川駅周辺地域のまちづくり



鳥海直樹 議員



問 玉造地区における成田湯川周辺地域およびニュータウン中央線沿線の開発が成田市における少子高齢化を緩和し、児童生徒数の大型減少を食い止めるとともに、人口流入の一助となることから、魅力ある成田市の今後のまちづくりにかかる施策についての重点を置くべきと考える。そこで、この成田湯川駅を拠点とした、新しいまちづくりをどう考えているのかを伺う。

答 成田湯川駅周辺は、鉄道駅のポテンシャルを活用し、良好な住環境の整備を誘導する生活拠点として位置付け、市街化区域^{注6}では

新たな住宅需要に応じた集合住宅の誘導を進め、駅周辺に生活利便施設、医療・福祉施設、公共公益施設などの立地の誘導を図ることとしている。駅北側の市街化調整区域^{注7}では、駅と周辺の交通ネットワークの充実が進む中で、開発の需要が高まった際には、周辺環境との調和を図りながら地区計画制度の活用を支援し、市街地形成が促進され有効な土地利用が図られるよう誘導していく。

その他の質問

- ◆玉造地区小学校の児童数の減少
- ◆児童ホームの待機児童対策
- ◆住民と指定管理者と行政の関係

注6 すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
注7 市街化を抑制すべき区域。



4. 台風による災害対応と今後の対策



飯島照明 議員



問 世界で最も人間の命を奪う災害は、熱帯暴風雨、日本名の台風で、その通り道である日本列島は、災害から逃れられない。平成28年8月22日に館山市付近に上陸した台風9号は、土砂災害、河川の増水や氾濫、暴風雨による爪跡を残し、成田市内でも、倒木や停電などの被害が発生、井戸が使えなくなった地域もあった。今回、避難所を開設しているが、発生した被害にどう対応したのか、成田市の災害対応を伺う。

答 成田市管理の道路への倒木は、成田市建設業災害対策協力会を通して建設会社に依頼し、撤去作

業を実施した。民地からの倒木が電線にかかった箇所は、東京電力やNTTに通報し、撤去を依頼した。停電対応は、東京電力成田支社に、オペレーターの増員を要望し、成田市も、電話回線機器の増設と配備職員を増員して、電話対応にあたった。雨量や過去の土砂災害の発生状況など、気象や地形、地勢等を考慮し、中央、久住、大栄公民館を自主避難所として午前10時から開設した。

その他の質問

- ◆停電、冠水および消防団
- ◆事前の防災行動計画であるタイムラインの策定を

5. スズメバチ等の対策

一山貴志 議員



問 夏から秋にかけて成田市内でもスズメバチに遭遇し刺された被害が発生し、過去には死亡事故にまで至ってしまった事例も現実になっている。成田市では、現在、スズメバチの巣の駆除費用の一部の補助を行っているが、業者は指定業者に限られており、市民からは見積もりをお願いしたが、費用が高過ぎるため依頼はできなかったといった声がある。いま一度、この制度の見直しが必要と考えるが、見解を伺う。

答 スズメバチは大変危険な生物なので、成田市としては、信頼ができて、周辺住民の安全を第一に

考え、迅速かつ適正な駆除を実施できることが、指定業者に求める基本的な考え方である。全国的にもスズメバチの巣の駆除に補助金を出している自治体は少なく、その中で成田市の補助率が2分の1以内で限度額が5万円とされているのは決して低い水準ではないと考えている。しかし、それでも実際には数千円から数万円の自己負担が生じているので、補助率について、検討していきたい。

その他の質問

- ◆介護保険制度改正
- ◆夜間中学

6. 地球温暖化対策

大倉富重雄 議員



▲地球温暖化対策に取り組む成田富里いずみ清掃工場

問 平成27年、歴史的合意ともいわれた地球温暖化防止のパリ協定が採択された。今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼロを目標とし、2030年までに温室効果ガスを26%、2050年までに80%削減することを目指している。これを受け、安倍首相は、地球温暖化対策に国を挙げて取り組むと発言している。そこで、国と連携し、エネルギー・環境イノベーション戦略、COOL CHOICE推進、LEDの導入の加速化を積極的に推進していくべきと考えるが、成田市の見解を伺う。

答 エネルギー・環境イノベ

ーション戦略は、次世代蓄電池など、革新的技術の開発であり、国策としての展開が図られると考える。COOL CHOICE推進とは、温暖化対策に資する賢い選択を促す国民運動であり、市民に積極的な啓発を行っていく。LEDの導入加速については、施策として積極的に取り組み、また市民への設置の働きかけを行い、引き続き推進していきたい。

その他の質問

- ◆ごみ減量・雨水貯留槽設置補助
- ◆防災減災対策・市道の空洞調査
- ◆埋蔵文化財施設計画の取り組み



7. 空港周辺開発

青野勝行 議員



問 加速する羽田空港の国際化と主力エアラインの路線撤退を考えると成田国際空港株式会社と共同して新たな魅力を創生すべきであり、成田空港に必要な施設の設置を進めるべきだと思う。成田市は国家戦略特区に指定されて世界から注目が集まり、医療の分野では先駆的な取り組みがなされると期待されているが、医療学会やシンポジウムを開催する場所は成田市内にはない。そこで、MICE^{注8}施設の設置が急務だと考えるが、空港周辺にMICE施設を設置する計画があるのか伺う。また、MICE施設についての成田市の考えを伺う。

答 MICE施設の整備については、平成26年度に調査を実施したが、大規模な展示場を擁する施設を空港周辺で建設費も含めて独立採算で運営することは難しいとの結果であったため、具体的な計画は進んでいない。また、仮に大規模MICE施設の整備が実現すると、国内外からの来訪者による経済波及効果が見込まれ、空港利用者の増加が期待できるため、実現の可能性を高める検討を行うとともに、民間事業者の参入の可能性を引き続き検討したい。

その他の質問

◆国際人材の活用と育成

注8 会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

8. 赤坂地区に建設される民間葬祭場

油田 清 議員



▲葬祭場が建設される赤坂地区付近

問 現在、ニュータウンの赤坂保育園の隣接地に建設されている葬祭場をめぐり、近隣住民とトラブルが起こっている。赤坂地区は商業地域だが、そばに閑静な住宅街があり、マンション群が並ぶ。葬祭場は、建築基準法上問題がなく、規制できないが、トラブルを未然に防ぐため、葬祭場の設置に関する指導要綱を作るべきではないか。また、赤坂地区には生涯学習や子育て等を支援する多機能な複合施設を整備する計画だが、隣接する葬祭場への考えを伺う。

事前開示することは、紛争を予防し、話し合いの機会を設け、良好な住環境の保全や形成について効果があると考えられる。しかし、法律以上の制限は財産権の制限にもなりかねず、慎重な判断が必要になる。今後は、葬祭場の建築等に関する指導要綱を定める先進市の状況について調査していく。赤坂地区では多機能な複合施設と総合的な子育て支援施設などの整備を計画しているが、具体的な土地利用が決定していないため、基本構想を策定する段階で検討していく。

その他の質問

◆オンデマンド交通の現状と課題

答 特定用途の建築物についての指導要綱を制定し、建築計画を

9. 西三里塚共同利用施設前の市道が最高速度60キロでいいのか

鬼澤雅弘 議員



▲西三里塚共同利用施設前の市道

問 西三里塚共同利用施設前の市道は、通学路、そして住宅地域の生活道路でもありながら、最高速度が60キロである。何度も確認したが、特に朝の通勤時は怖さを感じるくらいのスピードを出す車が多い。多くの方々からこの道路は非常に危険なままという話をよく聞く。何度も要望を出しても全く変わらないと諦めている人もいた。死亡事故が起きてからでは手遅れである。長い間、最高速度の見直しにどのように対応していたのか、そして、命の大切さ、重さを考え、この道が最高速度60キロで住民の安全を確保できるか伺う。

答 制限速度の60キロ、それを超えて走る車が多く、交差点を横断する際や子どもたちの登下校時に不安を覚える周辺住民もいる。成田警察署によると、当該道路は生活道路および小学校の主要な通学路でもあるから、制限速度60キロは危険な場合もあるとのことで、これまで速度規制の要望はしてこなかったが、平成28年8月に速度規制を要望した。

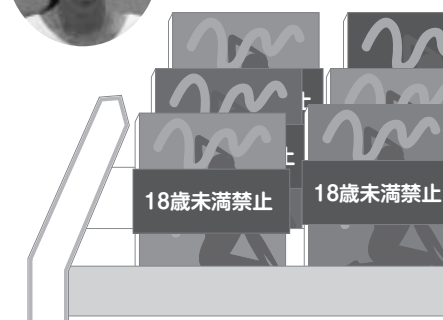
その他の質問

- ◆生活道路の抜け道化の問題は
- ◆スポーツ施設は足りているのか
- ◆学校給食の充実を図るための今後の取り組みは

10. コンビニエンスストアのポルノ雑誌



会津素子 議員



問 》 コンビニエンスストアに堂々と並べられたポルノ雑誌は、女性や子どもを性的商品化とすることを容認する社会を形成する一部であると考えます。大阪府堺市は有害図書類を青少年に見せない環境づくりに関する協定を市内コンビニエンスストアに呼びかけ、これに応えたファミリーマート11店舗では成人雑誌陳列棚に市が制作したカバーと仕切りをつけてゾーニング^{注9}を行っており、ポルノ雑誌の表紙が完全に見えなくなっています。そこで、成田市でも堺市のような手法でコンビニエンスストアにおけるポルノ雑誌のゾーニングに取り組んでほしいが見解は。

答 》 堺市が協定を締結したのは、市内のコンビニエンスストア約300店舗のうち、同系列の84店舗の中でも11店舗にとどまっている。また、出版者側からこの協定に反対する声明が発表されるなどさまざまな議論がある。このようなことから自主協定によるとはいえ、法や条例の規制の範囲を超えた制限を加えることは慎重に判断すべきものと考えている。

その他の質問

- ◆非正規職員の処遇状況
- ◆空港の機能強化
- ◆性的商品化から若者を守るための啓発を

注9 コンテンツの閲覧を年齢別に区分すること。映画の成人指定、ゲームソフトのZ指定など主に成人向けコンテンツを区分することを目的とする。

11. 空港機能強化で住民同意は



鵜澤 治 議員



問 》 開港から38年、コース下の住民は、就寝中の深夜22時台、80デシベルを超える単発機騒音に睡眠を妨害され、落下物の危険にもさらされ続けている。空港容量拡大に係る同意取得では、24万回、30万回の増便、カーフェリーの弾力的運用、すべて断固反対の住民の声を一切無視して、四者協議会が勝手に決めたのが経過ではないか。第3滑走路建設の経過を見ても、直接の利害関係者である一般住民の意見を聞かずに進め、より非民主的と言わざるを得ない。住民同意に関し、決意を伺う。

いて、四者協議会では、平成27年11月に、周辺地域住民に丁寧な説明を行いながら検討を深めることを確認し、平成28年3月に、速やかな情報開示をすることを確認している。住民の理解を得ることが肝要なので、国・千葉県・成田国際空港株式会社とともに信頼関係を築き、双方向で意見を交わし、抜本的な移転対策や防音工事の充実などの環境対策、地域共生策の合意形成を図っていく。

その他の質問

- ◆夜間飛行の規制緩和は
- ◆TPP批准の中止を
- ◆輸入食品急増で食の安全は

答 》 成田空港の機能強化につ

12. 赤坂2丁目2番3の土地の有効性

星野慎太郎 議員



▲赤坂2丁目の遠景

問 》 千葉県から買い受けの照会があった赤坂2丁目2番3の土地は、今後のニュータウン赤坂センター地区振興策に非常に有効な土地であると思う。この土地には葬祭場運営会社と近隣住民との間で理解の相違があり、トラブルが起きている。この土地の隣には赤坂保育園が、目の前には閑静な住宅地があり、反対側には多機能型複合施設が建つ可能性があるため、その間に葬祭場が存在する、整合性や計画性のないまちなるのではないかと懸念しています。照会に対してどう対応したのか、そして今後、成田市で土地の購入等、何らかの対応をされるのか伺う。

答 》 県有財産の買受希望について全庁的に照会をかけて確認を行った結果、庁内の各部署において希望がなかったことから、その旨を回答した。赤坂センター地区においては、図書館、公民館の敷地も含め、多機能な複合施設を整備する事業用地として、赤坂センタービル跡地約1ヘクタールを購入しており、土地を一体的に活用した施設整備を検討しているため、当該用地を新たに購入する予定はない。

その他の質問

- ◆国際医療福祉大学との連携は
- ◆市内福祉事業所と大学の連携



13. 農業委員会委員の任命



福島浩一 議員



問 農業委員会法・農協法・農地法の一部を改正する一括法案が成立し、平成28年4月1日より施行となり、成田市においても平成29年7月の農業委員改選から実施されることとなっている。農業委員については、市長が推薦・公募で委員を募り、公表した後、議会の同意を得て任命するとされているが、任命の考え方を伺う。

答 農業委員は農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる

者から任命することとされている。さらに委員は農業者の地域の代表であるという観点から、特に地域バランスに配慮する必要があると考えている。任命に当たっては、おおむね1カ月の間に、各地域や関係団体などから適任者を推薦してもらおうと同時に、幅広く公募をした中で、地域の代表として信頼され、職務を適切に行うことができる方を委員として任命したいと考えている。

その他の質問

- ◆稲作経営の省力化・低コスト化のための方策
- ◆遊休農地の固定資産税引き上げ

14. 地域包括ケアシステム構築

水上幸彦 議員



▲成田市中央地域包括支援センター

問 地域包括ケアシステムの現状と課題についての考えは。また、国は、全ての生活相談のワンストップ窓口を自治体ごとに整備した一体的な福祉サービスのビジョンを策定し、江戸川区は、高齢者に限らず誰もが住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けられるように地域包括ケアシステムの拠点をなごみの家として3カ所開設し、委託を受けた区社会福祉協議会が運営している。新たに求められる幅広い地域包括ケアシステムの構築について考え方を伺う。

答 現在、成田市には3つの日常生活圏域、4つの地域包括支援

センターが設置され、総合相談や地域ケア会議の開催など、高齢者の支援に取り組んでいる。高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加等に伴う複雑な問題に対応するため、相談機能の充実が課題であるとする。また、千葉県では、国に先行して、対象者横断的な施策展開を推進し、13の中核地域生活支援センター^{注10}が設置されている。幅広い世代を対象とする地域包括ケアのあり方について研究していく。

その他の質問

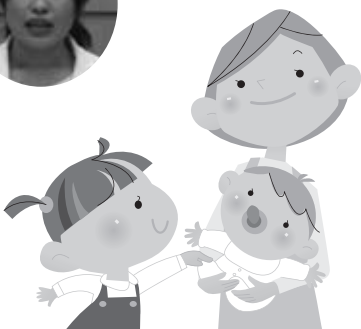
- ◆成田市交通体系の考え方と整備
- ◆成田市場再整備の考え方

注10 千葉県で健康福祉センターの所管区域ごとに設置されている24時間365日体制で福祉サービスのコーディネート・福祉の総合相談・権利擁護等を行う施設。

15. 育児休業中の上の子の保育園入園期間制限の見直し



荒川さくら 議員



問 市内保育園を利用中に第2子、第3子など、下の子を出産し、育児休業を取得した場合、育児休業中も在園中の上の子の保育園の継続利用が可能となっているが、下の子が1歳になる月の月末までという制限がある。1度退園となると、兄弟一緒に元いた同じ保育園に戻る保証はなく、保育環境が何度も変わることは、子供にとっても大きな負担となる。浦安市では1年6カ月まで、四街道市では産休終了後1年、八千代市では先生の判断で3歳以上の子はほとんど残っていると聞く。1歳の制限は見直すべきだと考えるが、成田市の見解は。

答 育児休業中の上の子の入園期間については、今後、市内の保育施設の整備に伴う保育の受け皿確保の状況も踏まえて検討を進め、育児休業中の保護者が、安心して職場復帰できるよう、保育ニーズに対応した環境整備に努めていく。

その他の質問

- ◆要介護1、2の介護保険給付外し
- ◆付属病院の関連施設用地も議会審議なしで無償貸与
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の問題点

16. 公正、機会均等、経済性を確保した入札制度改革に向けて



雨宮真吾 議員



問 平成28年3月18日付の国土交通省通達、予算決算及び会計令第85条の基準の取扱いについての一部改正について、入札価格調査基準の見直しにより、平成28年4月1日以降に入札公告を行う工事を対象に、低入札価格調査基準の現場管理費等の算入率を0.8から0.9へ引き上げることが、国より関係機関に通知された。この通知を参考に、千葉県も変更を行っており、成田市としても直ちに対応すべきだと考えるが、見解を伺う。

答 低入札価格調査基準^{注11}の現場管理費等の算入率の引き上げ

注11 契約の内容に適した履行がされないおそれがあると認められる場合の基準として、この価格を下回った場合には調査を行うこととしている価格。
注12 入札価格及び価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する入札。

問 成田市場再整備について、新市場が稼働したときには、かなりの交通量が予想されるが、現在の候補地周辺の道路状況では十分ではないと思う。また、水の上新田線沿線には住宅が連なっており、地域住民への十分な配慮が必要だと思うが、成田市の考えは。また、輸出拠点化による地元成田市の農業振興の面について、見解を伺う。

答 卸売市場の供用開始により、周辺道路の交通量の増加が予想されることから、周辺の住民に配慮した道路環境となるよう、必要となる交通網の整備を検討したいと考え

について、国では、平成28年4月より低入札調査基準価格のうち現場管理費について、品質確保の観点から、現場において必要とされる技術者の費用を計上することとし、算入率を0.8から0.9に引き上げる見直しが行われた。成田市も、低入札調査基準価格及び最低制限価格については、平成28年10月から算定方法を改定し、適切な見直しを図っていく。

その他の質問

- ◆総合評価競争入札^{注12}の対象をより一層増やすべきでは
- ◆低入札価格調査制度をより厳格にすべきでは

17. 成田市場再整備

秋山 忍 議員



▲新市場が予定される千葉県花植木センター跡地

ている。市道水の上新田線については、地元の方々の意見や理解をいただきながら進めたいと考えている。輸出拠点化により、成田市場が市内の生産者にとって有利な販売先となることが期待できることや、流通に要する時間やコストが大きく削減できることから、成田市の農業の活性化に大きく貢献できるものと考えている。

その他の質問

- ◆介護保険事業

中学生議会を開催



8月17日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらうことで、市政への関心を深めてもらうことを目的として開かれるものです。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙の実施や市政について中学生の視点からさまざまな質問や意見が出されました。

議員研修会を開催

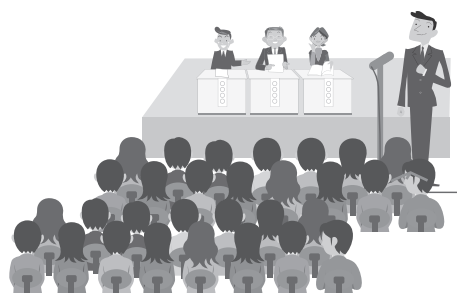


成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月31日には、「今後の地方議会のあり方と議員定数、報酬」をテーマに、法政大学 法学部教授の廣瀬克哉氏^{ひろせ かつや}を迎えて開催しました。

議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会の実現のため、議会報告会を下記のとおり開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明のほか、参加者との意見交換などを予定しております。多くの皆さまのご来場をお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。



平成28年 11月5日(土)	■時間 午前10時～12時	■会場 もりんぴあこうづ 2階 会議室
	■時間 午後2時～4時	■会場 三里塚コミュニティセンター 2階 多目的ホール
平成28年 11月6日(日)	■時間 午前10時～12時	■会場 久住公民館 2階 第2会議室
	■時間 午後2時～4時	■会場 下総公民館 1階 多目的ホール

※参加を希望される方は当日直接会場へお越しください。

各会場とも駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

もりんぴあこうづについては、公津の杜小学校の駐車場もご利用できます。

※託児・手話通訳を希望される方は、11月2日(水)までに議会事務局にお申し込みください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

議員定数検討会を設置しました

成田市議会では、議員定数のあり方を検討するため、議員定数検討会を設置しました。

成田市議会の議員定数は、条例で30人と定められていますが、市民の代表としての議員は何人がふさわしいのか、さまざまな考え方があります。成田空港を擁し、また多くの事業を抱える成田市において、市の意思決定、行政のチェック、また政策提言機関としての議会は重要な役割を担っています。今後、成田市民にとっての適正な議員数について、議会基本条例に定める考え方に基づいて検討していきます。

コーヒータイム



成田市内で敬老会が開催されています。敬老の日は、昭和22年に兵庫県多可郡野間谷村の村長が提唱した、としよりの日が始まりです。お年寄りを大切に、知恵を借りて村づくりをしようと農閑期で気候も良い9月15日をとしよりの日と決め敬老会を開催していました。それが、昭和25年には兵庫県全体の行事となりました。村長たちは、こどもの日や成人の日があって、年寄りの日がないのはおかしいと、国に運動を続け、昭和39年に老人の日、昭和41年に国民の祝日の敬老の日が誕生しました。長年社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝すものです。世界中で年寄りの記念日があるのは、日本だけだそうです。お年寄りを大切に、知恵を村づくりという誕生の原点を忘れないようにと思います。

広報広聴委員 福島 浩一

12月定例会は、12月2日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760

TEL 0476(20)1570(直通) FAX 0476(24)0336

Eメールアドレス gikai@city.narita.chiba.jp

成田市議会

検索

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH
SOY INK™
環境に優しい大豆インクを使用しています。

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。